

安房トンネル平湯工区工事

発注者 : 中日本高速道路
施設所在地 : 岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯 / 長野県松本市安曇中ノ湯
調査見学時期 : 平成6年11月17日
工事概要

一般国道158号は、福井市を起点として高山市を経て松本市に至る延長約260kmの路線であり、飛騨地方と信州地方、さらに広域的には北陸地方と関東地方等を最短距離で結ぶ幹線道路の一部を構成している。現道は、岐阜・長野県境の安房峠を越えているが、この地域は豪雪地帯であるため11月中旬から5月初旬までの六ヶ月間にわたって完全に交通が途絶し、その役割を十分に果たすことができない状況にあった。

そこで、安房トンネルの調査を実施し、平成元年本杭に着手した。熱水帯や火山噴出物堆積層は種々の工法を駆使して解決し、現在、平湯側（岐阜県側）から1,813.4mまで進んでおり、今回はこの切羽まで貸切バスにて見学させて頂くことができた。（安房トンネル総延長4,350mのうち平湯側（岐阜県側）L=2,080m）（GECニュース第64号より抜粋）



安房トンネル坑口にて
(写真提供…株式会社ダイヤコンサルタント 養氏)